

県内男女100人に聞きました(インターネット&FAX&ヒアリング)

2018年をふりかえって

今年も残すところわずかとなりました。振り返ってみると、どんな一年だったでしょうか。今年を漢字一文字で表すと…? 県内男女100人にお聞きしました。

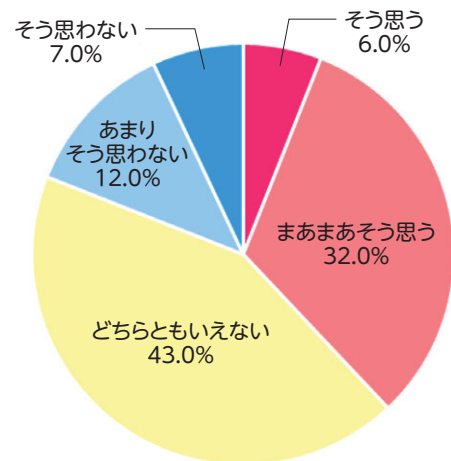
暮らしの満足度 38%が「昨年より高くなった」

今年は昨年に比べて暮らしの満足度は高くなったと思うか尋ねたところ、「そう思う」または「まあまあそう思う」と答えた人は全体の38%、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と答えた人は全体の19%でした。昨年同時期の調査結果と比べると、「そう思う」または「まあまあそう思う」と答えた人の割合は8ポイント減少、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と答えた人の割合は1ポイント増加しています。

暮らしの満足度が高くなったと感じる理由については、「新居へ引っ越した」、「貯金が出来た」、「出費は多いが、給料が上がった」、「夫が転職し、お給料がよくなった!」、「2人の子供のうち、1人は社会人になったから」、「経済的には変わらずだけど、健康に過ごせた」、「昨年までは母の病気などもあり心配や不安を持っていたが、その母をきちんと送ることができた事。またそれで自分や家族の為に向かう時間を持つことができたから」など、満足と感じる尺度は人によりさまざまです。

一方、満足度が高くなったと感じられない理由については、「経済的に満足できない」、「給料が変わらない」、「突然解雇され、お先真っ暗」、「商売をしていますが、あまり景気はよくありません」、「病気になり、病院代がかなりかかる」など、昨年同時期の調査結果と同様、経済的理由が目立ちました。

暮らしの満足度 昨年より高くなった?



今年になって始めたこと

今年になって始めたことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人の割合は14%で、昨年同時期の調査結果と比べると15ポイント減少しました。その内容は、「フィットネス」や「スイミング」、「ランニング」など、健康志向が目立ちました。

今年のうちにはやっておきたいことは、掃除・片付け

今年のうちにはやっておきたいことがあるか尋ねたところ、48%の人が「ある」と答えました。その内容については、家の掃除・片付けに関することが多い一方で、「ダイエット・減量」、「購入したものの未読のままの本を読破したい」や「台風で飛んだ屋根瓦の補修」といったものもありました。

最も印象に残っている県内ニュースは、V・ファーレン長崎の健闘

今年、最も印象に残っている県内ニュースとして、「V・ファーレン長崎のJ1での健闘」が最も多く挙げられました。次いで、アジア大会2018の男女マラソンでのメダル獲得をはじめとする「県内選手・県出身者のスポーツ界での活躍」、「世界遺産登録」となりました。

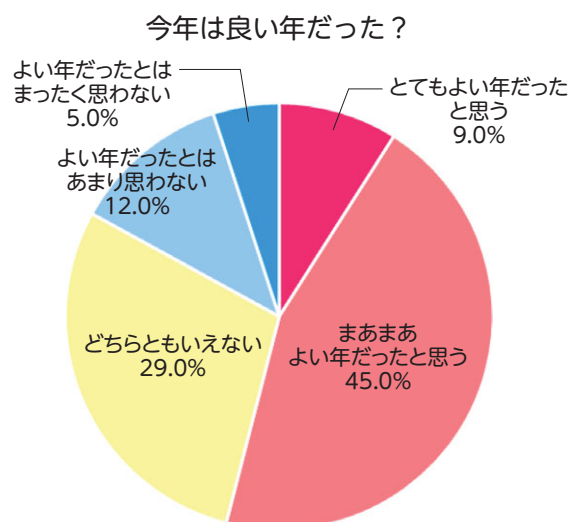
また、県庁移転や新幹線、ジャパネットHDが長崎市の工場跡地にスタジアムを中心としたまちづくりの構想を表明したことが挙がるなど、ニュースを通じて新しい長崎の姿に注目している様子もうかがえます。

総じて今年が良い年だった？

全般的に、今年が良い年だったと思うか尋ねたところ、「とても良い年だったと思う」または「まあまあ良い年だったと思う」と答えた人は、全体の54%で、昨年より15ポイント減少しました。

さらに、今年を漢字一文字で表すとしたら何か尋ねたところ、自身の一年を表現したものには、昨年同様、「楽」（色々なことが楽しい1年だったから）や、「健」（今年に病気をしたので健康の大切さを知った1年だった）が多く見られました。

その他、世相を反映したものには、異常気象による自然災害や猛暑が続いたことから「災」や「暑」、平成最後の年であったことから「終」という文字が挙げられました。



今年を漢字一文字で表すと？

楽

色々なことが楽しい1年だった。
楽に暮らしているから。
いつも楽しい。
子供との時間が楽しかったので。

災

災害が多かった。
今年も台風や地震などの多い年だった。
異常気象で台風なども多かったし、災害に苦しむ方が特に多かったように思う。
台風で実家の海水浴場が崩壊したから。

健

海外旅行出発3日前に家族が入院し、キャンセルに…。11月にリベンジしますが、やはり健康の大切さを再確認しました。
今年は病気をしたので健康の大切さを知った1年だった。

音

好きなアーティストのコンサートを満喫できた。

幸

入籍して幸せです。

自

自立したから

外

外国人を多く見掛けた事と、景気の波から外れていると感じたから。

願

願いがかなった。(結婚)

走

久しぶりにマラソン走る！

始

働き始めた年だから。

耐

今年の暑さには耐えた。

盛

西郷どん、W杯、冬季オリンピックで日本中が盛り上がったと思うから。

終

平成最後という言葉をよく聞いたので。
何でも平成最後っていったような感じ。

羽

末子がバドミントン部に入り、色々忙しかったので。

悔

仕事を辞めさせられて初めての屈辱を受けた。

関

色々な人間や物事との関わりが多かったから。

喜

長女の就職が決まった。
東京での同期会に参加し、同期と再会できた。
家族みんな健康に過ごせた。

異

大雪や風水害など、災害も多くなってきたし、ほんの少しの油断による事故など、これまでとは異なってきたと思う。減災のための準備は大切だと思う。

暑

配達の仕事をしており、猛暑が体にこたえた。
暑さで周りがバタバタ倒れていったので。

忙

今年から人生初の事務仕事についたり…孫が生まれて福岡に行ったり…五島に1人で住む母親の介護で月1回ペースで帰省したり…年代的にそういう時期なのかなと…。
社会人になり、とにかく4月から忙しかった。

穏

大きな心配事も無く毎日を普通に健康に過ごせた。
穏やかな日々が幸せだと思えた。

挑

転職で新しいことに挑んだ。

激

台風、大雨、猛暑と、激しい天候の変化が記憶に残った一年だった。

忍

忍耐力をもって、いろんなことを乗り越えた一年だった。

苦

就職活動が辛かったから。

変

世界的に変化の年になったと思う。10月4日のマイクペンス米副大統領の演説ですべての潮目が変わったと思う。
仕事を始めた事、子供が保育園に通い始めた事で、変化が多い年だった。

友

今年も一年何かあっても良い方向に進んで行きました。友の言葉・優しさを感じました。

調査方法：(有)みかんコミュニケーションズが運営する長崎県内女性ネットワークMONET登録会員を中心にインターネットとFAX及びヒアリングにより県内在住の男女100名より回答を得ました。

調査期間：2018年11月1日(木)～11月7日(水)

回答者属性：【性別】男性28名、女性72名 【年齢】10～20歳代17名、30～40歳代36名、50～70歳代47名
【居住地】県南78名、県北3名、県央9名、離島10名